

とき

vol.23

旬の人

九州一周駅伝で好成績

松尾匡易さんが、長崎県代表チームの選手として九州一周駅伝に出場し、区間2位の好記録を残しました。

九州一周駅伝には、九州・山口・沖縄の各県代表チームなど10チームが参加。10月19日から28日の10日間、長崎市をスタートし、福岡市をゴールとする72区間で健脚が競われました。

松尾さんは、今大会に初出場を果たし、3日目と6日目を力走。3日目の3区(10・4キロ)では区間2位の32分0秒の好記録で次の走者にタスキをつなげ、チームに貢献しました。

高校・大学時代に、「都道府県対抗男子駅伝」と「箱根駅伝」を経験した松尾さん。大学卒業と同時に一度は陸上競技から離れていましたが、「再挑戦したい!」と復帰を決意しました。

松尾さんは「大会中は体調があまりよくなかったけど、目標に近づけるタイムで走ることができました。今後いろいろな大会に出場していい記録を残し、実業団入りの夢に近づけるように頑張りたいです」と話していました。

また、松尾さんは11月11日に行われた県民体育大会陸上5000円で優勝しています。



まさかね
松尾 匡易さん
(今福・仏坂、23)

車いすマラソン大会で優勝

大浦幸子さんが、11月11日に有田町で開催された「佐賀セラミックロード車いすマラソン大会2007」1キロの部で、昨年に続き優勝を果たしました。

大浦さんは、先天性骨形成不全症で、幼いころから車いすで生活しています。小学1年の時、初めてこの大会に出場し、今回で10回目の出場。今大会には、全国から126人が出場し、大浦さんは7分39秒の自己ベスト記録で優勝を果たしました。

大浦さんは「9月から、体育の授業の時間に練習していました。優勝できて、『応援してくれた友達にいい報告ができる』とうれしく思いました。大会に出ることで、他の選手を抜いて順位を上げた時の爽快感を味わうことができたり、参加者や大会当日ボランティアを務めていた子などの友達をたくさん作ったりできました。来年は、運転免許を取り、母の介助を受けず、自分で大会会場に向かい、出場したいと思います」と話していました。



さちこ
大浦 幸子さん
(御厨・泉、松浦高3年)